

2017年2月6日

**7月14日(ないし)は「内視鏡の日」
2017年内視鏡検査に関する意識アンケートキャンペーンを開始
～内視鏡検査の認知向上・理解促進を目的として実施～**

オリンパス株式会社(社長:笹 宏行)は、「内視鏡検査に関する意識アンケート」キャンペーンを2017年2月9日から3月23日まで実施します。

同アンケートは、内視鏡検査の認知向上・理解促進を目的に7月14日の「内視鏡の日」※¹にちなんで2006年から実施され、今年で12回目となります。当社が運営する健康応援ポータルサイト「おなかの健康ドットコム(<http://www.onaka-kenko.com/>)」を通じてアンケートにご回答いただいた方の中から、抽選で合計100名の方にミラーレス一眼カメラ「OLYMPUS PEN E-PL8」などをプレゼントします。



「7月14日は内視鏡の日」



A賞:「OLYMPUS PEN E-PL8 レンズキット」

厚生労働省により胃がん検診に関する指針※²が改定されたことにより、2016年4月から市区町村が実施する胃がん検診において、問診とともに胃部X線検査(バリウム検査)もしくは胃内視鏡検査を推奨していく方針が発表されました。今年度のアンケートでは、指針が改定された新しい胃がん検診に関する質問や、胃がん検診を受けるタイミングについて新たに質問を設けました。当社は今後も、こうしたアンケートなどを通じて内視鏡および内視鏡検査の認知向上・理解促進に取り組むとともに、「おなかの健康ドットコム」を通じ、より分かりやすい情報提供に努めてまいります。

※¹ 内視鏡医学のさらなる発展と普及を願い、(財)内視鏡医学研究振興財団が7月14日を「内視鏡の日」と制定しました。7と14で「内視(ないし)」と読む語呂合わせから日付が決定され、日本記念日協会から2006年7月に認定を受けています。

※² 厚生労働省「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針(2016年2月4日一部改正)」

●アンケート実施概要

- 対象: 全国20歳以上の男女
- 方法: インターネット調査 (スマートフォンにも対応しています)
「おなかの健康ドットコム(<http://www.onaka-kenko.com/>)」上の特設ページで実施
- 期間: 2017年2月9日(木)11時～2017年3月23日(木)15時
- 結果発表予定: 2017年7月
- 設問数: 16問
- プレゼント:
 - A賞: <3名様> ミラーレス一眼カメラ「OLYMPUS PEN E-PL8 レンズキット」
 - <3名様> ピュア ホットアンドクール リンク空気清浄機能付ファンヒーター(ダイソン社製)
 - B賞: <14名様> トゥルー ドリップコーヒーメーカー(デロンギ社製)
 - C賞: <80名様> 温湿度計(タニタ社製)

●内視鏡検査について

内視鏡検査は、主に対策型^{※3}胃がん検診や、健康診断で任意に行う人間ドック、痛みなどの自覚症状がある人に対しその原因をつきとめる検査として行われます。内視鏡検査の対象となる臓器は、管状、袋状の形態を持つ管腔臓器です。食道、胃、十二指腸、大腸などの消化管をはじめ、呼吸器、耳鼻咽喉、泌尿器などの検査に使われます。

●新しい胃がん検診制度について

2015年9月に厚生労働省の「がん検診のあり方に関する検討会中間報告書」において、「胃内視鏡検査による胃がん検診は、胃がんの死亡率減少効果を示す相応な証拠が認められたため、対策型^{※3}検診として実施することが適当である」ことが発表されました。これを受け、2016年2月に胃がん検診に関する指針が改定されたことにより、2016年4月から市区町村が実施する胃がん検診において、問診とともに胃部X線検査(バリウム検査)もしくは胃内視鏡検査を推奨していく方針が発表されました。厚生労働省では、市区町村や職場の健康保険組合などで行われる対策型胃がん検診が、この指針に基づいて行われることを推進しています。

ご自身の胃がん検診について詳しく知りたい方は、お住まいの市区町村のがん検診担当窓口、または職場の健康管理窓口へお問合せください。

(表) 2016年2月に改正された胃がん検診の指針(「おなかの健康ドットコム」より)

| | 対策型 ^{※3} 検診 | 任意型検診 |
|-------|------------------------------------|--|
| 検診対象者 | 50歳以上の男女 ^{※4} | 希望者(特に定められていない) |
| 受診間隔 | 2年に1回 ^{※4} | 希望者(特に定められていない) |
| 検査方法 | 問診に加え、胃部X線検査(バリウム検査)または胃内視鏡検査のいずれか | 問診、胃部X線検査(バリウム検査)、胃内視鏡検査など 受けることができる検査方法の種類は医療機関によって異なる(対策型検診よりも精密な検査が受けられる場合もある) |

※3 集団全体のがんによる死亡率低減を目的とし、公共的な予防対策として行う検診のこと。

※4 胃部X線検査については当分の間、40歳以上の男女を対象にして1年に1回行うこともあるとされています。

●ウェブサイト「おなかの健康ドットコム」について

オリンパスが運営する健康応援ポータルサイト「おなかの健康ドットコム」(<http://www.onaka-kenko.com/>)では、ウェブ上で簡易的な健康チェックが行えるほか、おなかの病気の解説や内視鏡検査の受け方など、おなかの健康に関するさまざまな情報を掲載しています。

●主なアンケート設問

<上部内視鏡検査について>

- ・これまでに上部内視鏡検査(食道、胃、十二指腸)を受けたことがありますか。
- ・最後に検査を受けた際、どのような挿入方法で受けましたか。
- ・最後に検査を受けたのはいつごろですか。
- ・上部内視鏡検査を受けた/受けていない理由をお選びください。
- ・
- ・上部内視鏡検査に対して、どのようなイメージをお持ちですか。
- ・2016年度から胃がん検診制度が改定され、市区町村によっては胃部X線検査と胃内視鏡検査のどちらかを選択できるようになりました。もしあなたが胃がん検診を受けるとしたら、胃部X線検査と胃内視鏡検査のどちらを選択しますか?
- ・あなたは胃がん検診をどのようなタイミングで受けるべきだと思いますか?

<大腸内視鏡検査について>

- ・これまでに大腸内視鏡検査を受けたことがありますか?
- ・最後に検査を受けたのはいつごろですか?
- ・大腸内視鏡検査を受けた/受けていない理由をお選びください。
- ・大腸内視鏡検査に対して、どのようなイメージをお持ちですか。

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。